聖餐式 2021.4.4 復活日

特 祷 復活日 特祷

旧約聖書 イザヤ書 25:6-9

日課詩篇 第 1 1 8 篇 14-17, 22-24 節

使 徒 書 使徒言行録 10:34-43

福音書 マルコによる福音書 16:1-8

復活日特祷

すべての命と力の源である神よ、あなたはみ子の力ある復活により、罪と死の古い支配の力に打ち勝ち、み子にあって満物を新しくしてくださいました。どうかわたしたちが罪に死に、イエス・キリストにあってあなたに生き、栄光のうちにみ子とともに支配することができるようにしてください。父と聖霊とともに、讃美と誉れ、栄光と力が、いまもまた永遠にみ子にありますように。**アーメン**

旧約聖書 イザヤ書 25:6-9

万軍の主はこの山で祝宴を開き、すべての民に良い肉と古い酒を供される。それは脂肪に富む良い肉とえり抜きの酒。主はこの山で、すべての民の顔を包んでいた布と、すべての国を覆っていた布を滅ぼし死を永久に滅ぼしてくださる。主なる神は、すべての顔から涙をぬぐい、御自分の民の恥を地上からぬぐい去ってくださる。これは主が語られたことである。その日には、人は言う。見よ、この方こそわたしたちの神。わたしたちは待ち望んでいた。この方がわたしたちを救ってくださる。この方こそわたしたちが待ち望んでいた主。その救いを祝って喜び躍ろう。

日課詩篇 第 1 1 8 篇 14-17, 22-24 節

- 14 主はわたしの力、わたしの歌 // 神こそわたしの救い
- 15 喜びと勝利の叫びが正しい人の天幕にある // 「主の右の手は力を示す
- 16 神の右の手は高く上がり // その右の手は力を示す」

- 17 わたしは生き長らえて死ぬことなく // 主のみ業を告げ知らせよう
- 22 家造りの捨てた石が // 「隅のかしら石となった
- 23 これは主のみ業 // 人の目には不思議なこと
- 24 今日こそ主が造られた日 // この日をともに喜び祝おう

使徒書 使徒言行録 10:34-43

そこで、ペトロは口を開きこう言った。「神は人を分け隔てなさらないことが、よく分か りました。どんな国の人でも、神を畏れて正しいことを行う人は、神に受け入れられるの です。神がイエス・キリストによって――この方こそ、すべての人の主です――平和を告 げ知らせて、イスラエルの子らに送ってくださった御言葉を、あなたがたはご存じでしょ う。ヨハネが洗礼を宣べ伝えた後に、ガリラヤから始まってユダヤ全土に起きた出来事で す。つまり、ナザレのイエスのことです。神は、聖霊と力によってこの方を油注がれた者 となさいました。イエスは、方々を巡り歩いて人々を助け、悪魔に苦しめられている人た ちをすべていやされたのですが、それは、神が御一緒だったからです。わたしたちは、イ エスがユダヤ人の住む地方、特にエルサレムでなさったことすべての証人です。人々はイ エスを木にかけて殺してしまいましたが、神はこのイエスを三日目に復活させ、人々の前 に現してくださいました。しかし、それは民全体に対してではなく、前もって神に選ばれ た証人、つまり、イエスが死者の中から復活した後、御一緒に食事をしたわたしたちに対 してです。そしてイエスは、御自分が生きている者と死んだ者との審判者として神から定 められた者であることを、民に宣べ伝え、力強く証しするようにと、わたしたちにお命じ になりました。また預言者も皆、イエスについて、この方を信じる者はだれでもその名に よって罪の赦しが受けられる、と証ししています。」

福音書 マルコによる福音書 16:1-8

安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。そして、週の初めの日の朝ごく早く、日が出るとすぐ墓に行った。彼女たちは、「だれが墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。ところが、目を上げて見ると、石は既にわきへ転がしてあった。石は非常に

大きかったのである。墓の中に入ると、白い長い衣を着た若者が右手に座っているのが見えたので、婦人たちはひどく驚いた。若者は言った。「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と。」婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。そして、だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。

代祷

○ 新型コロナウイルス感染症に苦しむ人々のため、またその一日も早い収束の ため

<東京教区>

○ 4月の信施奉献先 つきしまキッズデイのため

<東京聖三一教会>

- 愛餐会・三一軒・ケーキの会のため
- ○「手芸の会」のため
- 病床にある方々のため

聖歌

167, 159